

行政連絡員連合会研修会 新庁舎建設について理解深める

平成33年度に開庁予定の役場新庁舎に関する連合会研修会が1月29日、「イコーゼ！」で開かれ、行政連絡員や町内会会員の皆さんら約110人が参加しました。

これまで連合会では、南会津町の新庁舎の視察など、新庁舎建設への理解を深めてきました。この研修会は、新庁舎の実施設計が進行していることから、基本理念を再確認し、町全体で認識を共有することを目的に開催しました。

講師の役場職員から「町民



に寄り添い、頼りにされる役場にふさわしい庁舎づくり」をテーマに、現在の課題を踏まえ、社会情勢の変化に対応した、基本理念や各フロアの機能、今後の建設スケジュールなどの説明がありました。

質疑応答では、参加者の皆さんから庁舎の詳細に関する質問が出されました。

町では、来年度、町内4地区で、実施設計説明会を開催する予定です。後日改めて、お知らせしますので、皆さんの参加をお待ちしています。

1_新庁舎完成イメージ図 2_会終了後も、町職員が参加者の疑問にお答えしました 3_研修会中の質疑応答 4_多くの町内会の皆さんで、新庁舎建設に向けての認識を共有しました

相馬福島道路桑折町民総決起大会 早期開通を願って心ひとつに

東北中央自動車道（相馬福島道路）の早期完成とインターチェンジに「桑折」の名称を求める桑折町民総決起大会が1月29日に行われ、多くの来賓を迎えて、町民約200人が道路開通への思いをひとつにししました。

はじめに、高橋町長が「昨年末『桑折ジャンクション』の名称をいただいた。これを契機に、インターチェンジにも『桑折』の名称が用いられるよう、また早期完成を求め、引き続き町民の皆さんと



共に声を届けてまいりたい」とあいさつ。続いて、福島河川国道事務所から相馬福島道路と、NEXC O東日本から桑折ジャンクションについて、工事進捗状況の説明がありました。

大会決議では、道路の早期完成のほか、(仮称)国道4号インターチェンジに「桑折」の名称を用いることが町民の皆さんの拍手をもって承認され、発起人の会佐藤久仁夫会長と片平秀雄顧問から高橋町長へ決議書が手渡されました。

1_相馬福島道路「桑折高架橋」の完成イメージ図 2_発起人会渋谷浩一副会長より大会決議を公表 3_発起人会片平秀雄顧問のがんばろう三唱で心ひとつに 4_発起人会から町長に決議書が渡される

情報発信中!

『新庁舎NEWS』

回覧日に、各ご家庭に新庁舎建設に関する最新情報が掲載された「新庁舎NEWS」を配布しています。ぜひご覧ください。



町ホームページではバックナンバーも閲覧できます!

Q&A ●研修会でいただいた主な質問にお答えします

地震や火災等への対応は?

非常階段や消火栓を配置します

通常時に使う東側階段だけでなく、非常時には西側階段を開放し、避難経路を確保します。また、屋内外の消火栓設備の配置により、万が一の火災等に備えます。



庁舎内のセキュリティ対策は?

警備体制を検討しています

新庁舎では、休日や平日閉庁後にも町民の皆さんがご利用いただけるように、町民ロビーを開放する予定です。そのため、安全対策として、防犯カメラの設置や夜間警備、執務室への入室制限などの対応を計画しています。



HOT NEWS!

「桑折ジャンクション」決定!



こんなイメージの看板が高速道路などに掲げられるのでしょうか。「桑折JCT」の名称を得たことで、さらに全国的に広く「桑折」をアピールできることが期待されます。

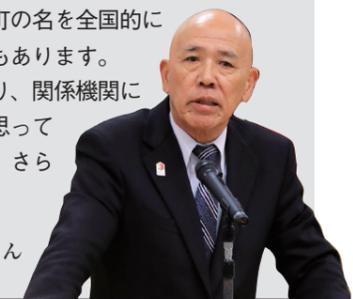
Interview

町民一丸となって「桑折」の名を全国へ

復興支援道路である相馬福島道路については、平成32年度の開通に向けて、工事が順調に進み、早期開通の期待も一層高まっています。相馬福島道路は、広域的な交流により、観光の効果や移動時間の短縮など、多くの効果が期待されています。また、インターチェンジの名称に「桑折」の名を用いてもらうことにより、桑折町の名を全国的に知っていただく絶好のチャンスでもあります。

そのためにも、町民が一丸となり、関係機関に要望していかなければならないと思っています。この総決起大会を契機に、さらに力強く要望していく覚悟です。

発起人会会長 佐藤 久仁夫さん





今回のリニューアルで新たに「グルメ情報」や「桑折の逸品紹介」のページができました。ぜひご覧ください！

町の魅力と最新情報が満載の観光ガイドブックが完成しました。これまでのガイドブックよりもサイズが大きくなり、デザインも一新。以前掲載がなかった町内の飲食店などを紹介するページや、手作り体験の紹介コーナーが新たに設けられ、町歩きのお供にぴったりの一冊となっています。

完成したガイドブックは、町内の関係施設や、全国各地で開催されるイベント等で配布しています。また、仙台市地下鉄の主要駅にも設置され、桑折町の情報と魅力を発信し、町への誘客を図ります。

■配布場所・問い合わせ
産業振興課商工観光推進室
☎58212126

「桑折町観光ガイドブック」 町歩きのお供にぴったりの一冊に

桑折町消防団出初式 町民の生命と財産守る決意新たに



寒空の中、威風堂々の行進を披露し、統監が観閲しました

桑折町消防団の出初式が1月6日、佐藤富博団長以下、団員約200人の参加で行われ、防火・防災へ取り組む気持ちを新たにしました。

当日は、式典会場の地域交流センターへ向けて、団員と消防車両14台で市中行進。ラッパ隊の演奏のもと、団員らは防火の願いを込めて一歩一歩踏みしめ、勇壮

な姿を披露しました。

統監（町長）による通常点検後開始した式典では、全員で殉職された団員に対する黙とうや消防団綱領の斉唱を行い、町長式辞、団長訓示を受けました。

また式典の席上、優良団員に対し桑折ライオンズクラブ（鈴木キヨ子会長）から徽章が贈られました。受賞者は表のとおりです。

■桑折しご会長表彰（敬称略）

所属	階級	氏名
1分団	団員	佐藤年彦
1分団	団員	浅野正裕
2分団	班長	佐藤 仁
2分団	団員	橋内 睦
3分団	団員	宮田健介
3分団	班長	古山要一
4分団	団員	穂積敏幸
4分団	団員	小野和広



気を引き締めて、訓練に臨む参加者たち

「第65回文化財防火デー」 旧伊達郡役所で放水訓練

町文化財防火訓練が1月20日、旧伊達郡役所で、町、消防団、伊達地方消防組合、文化財関係団体、住民等約150人が参加しました。訓練は、2階バルコニーからの出火を想定。避難誘導や放水訓練、住民による消火器を使用し

での消火訓練などを実施しました。

高橋町長は「文化財は、歴史資源を活かしたまちづくりを進める上でも、後世へ守り伝えることは私達の責務」と挨拶。参加者は町民共有の財産を火災・災害から守る決意を新たにしました。

空家対策セミナー・相談会 専門家からアドバイスを受ける

空家対策セミナー・講演会・相談会が1月27日、「イコーゼ！」で行われました。

建築・不動産の専門家や講師に招き、近年増加を続ける空家の現状とそれによって起こる問題、空家を所有・活用していく上で必要な情報等をお話しいただきました。

町内外から集まった約40人の参加者は、自分が抱える空家問題をどのように解決するべきか、講演に聞き入りました。

午後からは町内の専門家による相談会が開かれました。参加者一人ひとりにアドバイスを行い、それぞれの悩みに対応しました。



空家を活用した住まいづくりや他市町村の空家活用事例を紹介

桑折町ロゴマークピンバッジ 好評販売中



職場やチーム、各団体に揃えて、みんなで桑折町をPRしましょう

桑折町のロゴマークをあしらったピンバッジの一般販売を1月21日より開始しました。1個700円。縦2・7センチ、横0・8センチの大きさで、スーツの襟元等にワンポイントとして付けられます。子どものリュック等に付けても可愛いです。

「桑折町民のあたたかさ（ピンク）」、「桃（薄いピンク）」、「蛍の光（黄色）」、「半田山などの自然（緑）」を表したマークで、さらに町をPRしていきます。

■購入場所・問い合わせ
総合政策課 広報広聴係
☎58212115

福島県広報コンクール 「広報こおり」3年連続入選

第64回福島県市町村広報コンクールにおいて、広報紙部門で「広報こおり12月号」が入選（2位）に選ばれました。

12月号では、認知症をテーマに、認知症の症状や町の取り組みを紹介。介護体験者や町内の介護施設職員の生の声を取り上げ、認知症問題を身近

に感じてもらえるような紙面を作りました。

この受賞も、日頃より取材にご協力いただいたいる皆様のおかげです。「今回の特集良かったよ」「編集後記読んでよ」などいつもあたたかいご支援本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。



2月中旬に福島県庁で表彰式が行われます